

2021年10月18日

株式会社 ミライト・ホールディングス

**【株式会社ミラテクドローン】**  
**「ドローンによる水管橋点検サービス」の提供開始**  
～水道施設の老朽化による漏水・破損事故の増加に対応～

ミライト・ホールディングスのグループ会社である株式会社ミラテクドローン(本社:東京都品川区、代表取締役社長:佐々木 康之、以下、ミラテクドローン)は、近年、問題となっている水道施設の老朽化を点検する「ドローンによる水管橋点検サービス」を10月18日より開始します。

日本では、1960年～1970年頃にかけて整備された水道施設が老朽化を迎えており、最近では、年間2万件を超える漏水・破損事故が発生しています。特に、法定耐用年数(40年)を超えている水道管の割合は17.6%で、今後、さらに増加することが必至の状況です。(出典:平成30年度水道統計)加えて、ミラテクドローンでは、2021年10月3日に発生した和歌山市における水管橋の一部が破損、落下する事故を受け、今後、国内に多数存在する同様の水管橋の点検が急務と考え、サービス提供体制を整え、本サービスの提供開始に至りました。

ミラテクドローンでは、2020年2月に堺市上下水道局、また、それ以前にも複数の自治体の水道局が参加して、ドローンを用いた水管橋点検の実証実験を実施しています。その結果をもとに、管外面の亀裂や塗装の剥がれ、錆の状況、橋梁のコンクリートのひび割れ等を的確に把握できることが実証されており、実用化を進めてきました。これにより、これまで、川岸から肉眼で行ってきた水管橋の点検を、ドローンに搭載したカメラから、近接で詳細に撮影・記録することが可能となります。

また、本サービスは、株式会社リアルグローブ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:大畑貴弘、以下、リアルグローブ)が開発したソフトウェア「Hec-Eye」の機能を活用することにより、リアルタイムで配信されるドローンからの映像を、水管橋や橋梁の劣化診断の専門家が、事務所等の遠隔地から診断するとともに、発見した劣化が疑われる部分については、必要に応じて高精細な画像を様々な角度から撮影し、その場所を地図上に登録、閲覧することが可能です。

本サービスは、全国の自治体の水道局や水管橋を管理する事業者等を対象に、ミラテクドローン、  
ならびに、全国のパートナー会社のパイロットを派遣し、実施します。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

株式会社ミラテクドローン  
事業戦略部 蕨内、川崎  
TEL: 03-5496-5851  
URL: [www.miratecdrone.co.jp](http://www.miratecdrone.co.jp)

**【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】**

株式会社ミライト・ホールディングス  
広報室  
TEL: 03-6807-3120  
FAX: 03-5546-2967  
URL: <https://www.mirait.co.jp/>

— 記 —

サービス名： ドローンによる水管橋点検サービス

提供開始日： 2021 年 10 月 18 日

内容： 水管橋における管外面の亀裂や塗装の剥がれ、錆の状況、橋梁のコンクリートのひび割れ等をドローンにより近接し、詳細に撮影、記録するサービス、また、リアルタイムでドローンからの映像を伝送し、劣化部分については詳細に画像を撮影、その場所を地図上に登録、閲覧するサービス

提供価格： 水管橋の規模、周辺状況により、個別に見積もり



ドローンからの撮影・記録した水管橋



水管橋台座部分



リアルグローブが開発したソフトウェア「Hec-Eye (<https://hec-eye.realglobe.jp/>)」を

利用した遠隔地の点検者(専門家)によるリアルタイム診断

以上